



7月 ほけんだより



令和7年
筑後保育所
7月1日発行

梅雨が明けると、暑い日が続くようになり、体に影響してくる季節となりますが、暑さ知らずの子どもたちの元気な声は園内に響き渡っています。今年の夏も熱中症や夏の感染症に注意しながら、健康に気をつけ、夏の暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



とびひのはなし



「とびひ」とは、強いかゆみを伴う細菌感染症で、火の粉が飛ぶように次々と別の場所に感染することから『とびひ』と呼ばれています。

原因は、虫刺され、すり傷、あせも、湿疹など、掻いたところに菌がつくことで感染を起こし、『とびひ』になります。

症状は、強いかゆみ、水疱（みずぶくれ）、かさぶたが多発している、などです。

家庭で気をつけることは、処方された薬を正しく使うこととホームケアを行うことが大切です。

- ① 肌を清潔に保つ：お風呂はシャワーを使用し、患部はそっと洗いましょう。
- ② 快適な環境で過ごす：室内ではエアコンを付けて、快適に過ごしましょう。
- ③ 患部をガーゼや包帯で覆う：『とびひ』が完全に治るまでは、患部をガーゼや包帯で覆って保護しましょう。

登園は、基本的には医師の診察と適切な治療を受けた上で、患部をガーゼや包帯で覆っていれば可能です。（学校保健安全法）

プールは、水では感染しませんが、治るまで禁止になっています。（学校保健安全法）



アタマジラミのはなし

アタマジラミは人（特に子ども）の頭髮の中に住み着き、皮膚から吸血してかゆみを起こします。

感染経路は、保有者との頭と頭の接触、タオルや帽子、寝具等の共用などで移ります。

症状は、吸血された部分が赤く腫れて、かゆみが起こります。

見つけ方は、成虫や幼虫は光を嫌い、髪の毛の間に隠れてしまうので、卵の有無で判断します。

退治法は、○専用アタマジラミ用シャンプーを使って洗髪します。（専用シャンプーは成虫には効きますが、卵には効かないです） ○専用クシを使って卵やアタマジラミをすき取ります。

○卵の付着した毛髪をはさみで切り取ります。

家庭で気をつけることは、○こまめに掃除機をかけましょう。 ○シーツや枕カバーを毎日洗濯しましょう。 ○タオルやブラシ、寝具類の共用はしないようにしましょう。 ○家族全員の頭髪をチェックしましょう。 ○通園先に連絡し、他の人に移さないようにしましょう。

登園は、控える必要はありません。

駆除完了の確認方法は、1週間ほど新たに卵が発見されなければ駆除完了です。

